

第2回 武蔵野市図書館運営委員会の主な内容

日 時 平成 24 年 1 月 30 日 (火) 午後 5 時 30 分～8 時 00 分
場 所 ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス 4 階フォーラム
出席委員 伊野啓子 桂まに子 黒沢明子 酒井有紀
船崎 尚 松山 巖 三井一夫 毛利和弘

会 議 次 第

- 1 開会
- 2 前回会議要録の確認
- 3 議事

(1) 図書館の運営について

① 平成 22 年度 武蔵野市図書館事業評価 (案) について

事務局から平成 22 年度武蔵野市図書館事業評価 (案) についての説明。前回まで、また今回郵送等でいただいたご意見をまとめたものを配布。評価は 3 段階 (A～C)。今日は評価とコメントをまとめる。

○図書館運営に関する項目

・図書館施設・機能の充実

1 公共施設を利用した図書館機能の充実

委員長 B 6 名、C 2 名です。私は利用者にとっては 1 つポストが増えています、新しい場所に検討し設置したものではないので、C と B で悩みました。こちらは B でよろしいでしょうか。よろしければコメントに移ります。

事務局 コメントは、委員会として一つにまとめていただきたいと思います。

委員 旧西部図書館のポストはどの程度利用されていますか。あまり利用されていない様子がないので、今後は返却数を調べる必要があるのではないのでしょうか。

委員 目標が「検討」でしたが、評価に当たり検討内容の報告をいただきました。

委員 検討がどこまで進んだのか、報告書や中間報告などの「成果」がないので、大変評価がしにくい。あるいは年次を入れ、2 年間で達成する目標の、1 年間での達成度などが明記されていないと、評価も抽象的になってしまいます。西部図書館跡にブックポストがあるのは当然かと思えます。ビジョンがないと年次計画が抽象的になってしまうので、平成 24 年度までには 26 年度までのビジョンを明確にしていただけると評価がしやすくなると思います。

事務局 委員のおっしゃる通り、目標については 24 年度からは検討します。

委員 評価は B、コメントに「設置場所の検討を急ぐ」でよろしいでしょうか。

委員 「検討結果を年度のまとめとして提示して欲しい。」と加えてください。

2 既存施設の整備改修

委員 こちらは A 4 名、B 4 名と分かれましたがいかがでしょう。

委員 修繕工事は達成ですが、書庫の集密化ができていないので B にしました。

委員 書庫の集密化は進んでいないのでしょうか。

事務局 他の計画的な修繕工事や突発的な工事もありまだ取り組めていません。予算がなかなか認められず、課題として認識しておりますが、実現できていません。

委員 平均値で評価はできません。目標が2つならば2つに分けて評価するほうがよいでしょう。また「進める」という抽象表現ではなく、結果をまとめればAになると思います。何年次計画かを明記し、達成年度で成果をまとめていただきたい。また、検討内容の報告書等の成果物をいただきたい。施設改修にはAですが、集密化は報告がないので評価できません。予算折衝を行ったのであればそれを入れてください。目標と結果は並列なので、連動させていただきたい。

委員 ①修繕工事はA、②書庫集密化はB、と分けて評価してはいかがでしょうか。

事務局 22年度は目標を既に設定しておりますので、このままでよろしいでしょうか。23年度取組目標については検討いたします。また、ご質問いただいた「書庫の集密化」についてご説明いたします。「書庫の集密化」は、地下1階書庫の棚を動かすことのできる電動書棚へ移行し、同じスペースで多くの本を入れることができるようにすることを指します。あと3年程度かけて集密化を進めると、10万冊強蔵書可能数を増やすことができます。

委員 「書庫の集密化」ではわかりにくいので、「集密書架の導入」と表現したほうがイメージしやすいのではないのでしょうか。

委員 では評価はB、コメントは「計画的に進めること」でよろしいでしょうか。

3 図書館業務システムの再構築

委員 A6名、B2名です。予定通り進んだと思いますがいかがでしょうか。

委員 Aでもよいと思いますが、吉祥寺がもう少しと思いBにしました。

委員 では評価をA、コメントに「吉祥寺に自動貸出機の増設が望まれる」と載せるということよろしいですか。

事務局 吉祥寺はスペースの関係や施設自体の老朽化により制約が多くあり、自動貸出し機を多く入れることができないということがあります。

・安心して利用できる図書館環境の構築

1 利用者の安全を高める施設の充実

委員 防犯カメラ増設は23年度に実施することになったようです。評価はA1名、B7名です。評価はBでよろしいですか。

事務局 23年度の評価になりますが、防犯カメラの入替と増設を23年度に行いました。今まで見えなかった入口付近や新システム以降に伴うレイアウト変更によって生まれた新たな死角を含め、死角をなくすように設置しています。

2 個人情報とプライバシーの保護

委員 自動貸出機の導入を行ったので評価はみなさんAです。コメントもこのままでよろしいでしょうか。

3 危機管理体制の構築

委員 A2名、B6名と分かれています。まず評価はいかがいたしましょう。

委員 中央図書館で震災を踏まえた防災訓練を行ったことは評価できると思いますが、訓練は各館で必要と思いBにしました。

委員 ここも目標が2つです。マニュアルの「見直し」の方の実態が見えず評価できませんでした。原案ができていれば達成度は高く、Aの評価ができますが、ただ先送りしたのであればBかと思います。

事務局 マニュアルは途中まで作成していたのですが、震災発生に伴い全面的に見直すということにいたしました。

委員 評価はB、コメントに「防災訓練を分館でもやって欲しい」でよろしいでしょうか。

・質の高いサービスを支える体制整備

1 職員の人材育成

委員 A3名とB5名に分かれています。いかがでしょうか。

事務局 職員数に対して研修への参加に人数が少なく感じる事、研修によって得た具体的成果を出せないか、というコメントをいただきました。

委員 効果は22年度目標に記入がないので、23年度目標に入れてはどうでしょう。計画を作られたことは大変な努力だと思いますので、評価はAでよいと思います。

委員 では評価はAとし、コメントを生かすということにしましょう。

2 施設の管理・運営形態

委員 A3名、B4名、C1名ですが、こちらはいかがでしょうか。

委員 Cとしましたが取組目標と結果を混同していたのでBでもかまいません。

委員 費用対効果の検討を始めたということですがこちらはいかがでしょう。

委員 検討を始めただけでは判断材料がなく、ゴールがわかりません。「検討をはじめる」は取組結果に出てくる言葉ではありません。また、結果のまとめが出ないことにはAはありえないと思います。

事務局 お示しできるような資料はございません。既存の資料から近隣市を調べたまでで、まとめは作っていません。

委員 費用対効果についての調査はどうでしょう。

事務局 こちらはまだ積算しておりません。

委員 評価をB、コメントに「費用対効果について具体的に見える形で進めること」といたしましょう。

3 評価システムの構築

委員 こちらは評価システムを構築し目標を達成しているので、評価できるのではないのでしょうか。A6名、B2名です。これはAでよろしいのでしょうか。

○図書館サービスの関する項目

・地域の情報拠点としての情報の蓄積

1 多様な情報資料の蓄積

委員 A3名、B5名です。新たにDVD貸出を始めたことはAと評価できます。収集と整備はいかがでしょう。

委員 この収集と整備は予算の自然増でしょうか。何か特別なことをしていればAを付けられると思います。

事務局 予算は格段に増額したということではなく、例年と同じく予算通りに資料を購入いたしました。

委員 取組目標として掲げることは改善及び改革を意味するので、これを伴わないものは目標に入れず、DVD貸出のみにすべきではないでしょうか。

事務局 コメントに例年通りと分かるよう入れるということではいかがでしょうか。

委員 では評価は実質を取ってAにしましょう。

2 市民や地域の蔵書の有効活用と資料のリサイクル

委員 全員Aなのでコメントもそのままでもよろしいでしょうか。

委員 これは一番評価できると思います。

・市民や関係機関と連携したサービスの充実

1 市民との協働

委員 A 3名、B 4名、C 1名ですがいかがでしょうか。これは取組結果が従来通りなのでCということでしょうか。

委員 目標では「幅広い」となっているのに、取組が従来通りなのでCにしました。

委員 可能性について検討ということですが、結果は従来通りということですか。

事務局 新たな取組として市民に呼びかけをするということはありませんでした。

委員 23年度に何か考えているのであれば目標に入れてもいいと思いますが、特にならなければ、目標に入れなくてもよいのではないのでしょうか。

事務局 ボランティア団体が自立できるようにするための話し合いは内部でありましたが、予算を付けるなどの成果はありません。将来はNPO団体化の支援などを考えていますが、22年度は特にありません。

委員 新しいことが1つもないのであればCですね。

2 他の図書館施設、行政部局との連携・協力

委員 引き続き実施ということで件数も大きく変化していないようですがいかがでしょうか。A 3名、B 4名、記入なし1名です。

委員 具体的な話をされたことはありましたか。

委員 目標が「引き続き」で数字を伸ばすなどの具体的目標がなかったので、今まで通りでの達成ですね。

委員 何かあれば評価できたのですが。

委員 今回は目標ができてしまっているので、評価はB、コメントに「23年度取組目標に生かして欲しい」といたしましょう。

3 その他の期間との連携協力

委員 こちらはA 3名、B 4名です。

委員 私がBにしたのは目標に具体性がなかったからです。22年度は従来と違ってることがわかればAでよいと思います。

委員 吉祥寺美術館との連携だけを特筆することに疑問を持ちました。26年度までの大きな目標が「地域文化の創造や発展」なので、もっと力を入れるべき目標だと思います。

委員 年度計画を具体的に立てていただきたい。また、大きな目標を受けて各年度

の目標があるので、26年も具体的に見えるようにするとよいと思います。
事務局 各年度の目標はイベントのような具体的にやることではなく、26年度に向けてここまで達成させるといった書き方でよろしいでしょうか。

委員 目標を「今まで実施していなかった吉祥寺美術館との連携を行う」と掲げていけばA、もっとやりたかったがここだけになってしまったということならばBになるので、目標はもっと具体的にしてください。

委員 では評価はB、コメントは生かしましょう。

4 学校との連携

委員 これはAとBに評価が分かれていますがいかがでしょうか。

委員 「学校連携貸出」は、学校は本当に助かっています。調べ学習で使用する本まで選んで送っていただけるので、現場は大変満足しています。

委員 「物流ネットワーク構築」が目標ですが、これは構築できましたか。

事務局 予算がつかず実現できておりません。現在は学校交換便を利用しています。この交換便は毎日あるので、現状は新しいネットワークを構築するより現状維持の方が学校側は便利かもしれません。学校は22年度に学校図書館システムを導入し、将来的には学校間での貸出ができるようにしていきます。将来は学校間と図書館を合わせた物流ネットワークを構築したいと考えております。

委員 目標の立て方によってはAだったと思いますが、今回はBですね。選書会議を開くことを目標とすればAになったと思います。

○図書館サービスに関する項目

- ・図書館の活用と情報収集の支援

1 貸出・閲覧サービスの利便性の向上

委員 貸出にかかる時間が短縮され、利便性は向上したと思います。A 6名、B 2名なので、Aでよろしいでしょうか。

2 本に親しめる環境の整備

委員 学校や各課と連携して「子ども読書活動推進計画」の中間報告をまとめたということですが、評価はAとBに分かれています。

委員 目標が2つなのに結果が1つしか書かれていません。また、図書の「テーマ展示」とありますが、この内容が見えてきません。

事務局 今日の資料では22年度の部分が抜けていました。22年度もトピックスの展示は例年より回数は減っていますが実施しております。

委員 評価はB、コメントは「従来通りの推進を求めたい」でよろしいですか。

3 市民活動機能の充実

委員 これも従来通りの取組でしょうか。A 6名、B 2名ですが、Bでコメントを生かす形でよろしいでしょうか。

○図書館サービスに関する項目

- ・市民の学びと問題解決の支援

1 レファレンスサービスの充実

委員 評価はA、B、Cに分かれています。新たなHPは確認できましたが、事例集は刷新できましたか。

事務局 職員向けのデータの蓄積をするシステムは刷新できました。ただ、一般利用者向けの公開には至っておりません。

委員 取組目標は達成しているのでAといえますが、当たり前のことでイノベーションといえるほどではない気がするのでBにしました。

委員 では評価はBですね。

2 学びを支える情報の収集、提供、発信

委員 これは公開まで至っているので、Aということによろしいでしょうか。

3 課題解決の支援

委員 評価はA 4名、B 3名、C 2名と分かれています。いかがでしょうか。

委員 パスファインダーについて結果がありませんが、いかがでしょうか。

事務局 パスファインダー・課題解決ともに22年度はまだ実施していません。パスファインダーは調査に留まっているので、ご提示できる成果物になっていません。また結果に漏れていますが、新聞記事データベースを一部バージョンアップし、検索範囲が広くなりました。

委員 情報収集支援は強化されたということですね。

委員 ではBですかね。

・利用者対象者別の図書館サービスの充実

1 一般利用者向けサービスの充実

委員 目標が3つあります。これは全員一致なのでBでよろしいでしょうか。

2 児童サービスの充実

委員 A 5名、B 2名、C 1名ですがいかがでしょうか。

委員 継続事業ですが、他の市区町村よりも非常に優れていると思います。

委員 目標に対して実績が下がっているなので、努力が足りなかったということでBではないでしょうか。

委員 目標にある文芸賞の応募作品数が目標に相当するのかが疑問に思います。

3 ヤングアダルト向けサービスの充実

委員 特に新たな取り組みはないようですが、例年より蔵書数が増加しています。

評価はB 4名、C 3名ですが、いかがでしょうか。

委員 22年度に特別な取組がないようでしたので、期待を込めてBにしました。

委員 実績だけをみれば評価はBですが、どのように促進するか具体的に見えないところがあり、評価できません。必ず目標と連動させて欲しいと思います。

委員 普通の取組は行ったと解釈してよいのでしょうか。

事務局 新しい取組はありませんが、従来通りの事業は行っておりました。図書館だよりも全体向けであり、YA世代向けに作成はしていません。

委員 従来通りの取組だけということですか。

事務局 特に新しいことはやっていますが、選んだ図書がヤングアダルト世代の求めていたものと一致した、ということはあるかもしれません。

委員 目標の立て方に問題があるのではないのでしょうか。

委員 では、評価はBでコメントを生かしましょうか。

4 シニア利用者に対するサービス

委員 こちらはみなさんBですが、Bでよろしいのでしょうか。

5 来館、利用困難者に対する利便性向上

委員 こちらは全員Bでしたので、Bでよいと思います。コメントは「高齢者や日本語を母国語としない利用困難者に対する取組の推進と、早期の配本サービスを実施すること。」といたしましょう。

② 平成23年度 武蔵野市図書館事業目標（案）について

○図書館運営に関する項目

1 図書館施設・機能の充実

1-1 公共施設を利用した図書館機能の充実

委員 検討の結果は23年度に出す予定ですか。それとも24年度でしょうか。

事務局 検討できたかも含め、23年度にまとめたものをお出しします。

委員 23年度に難しければ「2年間をかけて検討」としてはどうでしょうか。23年度は中間報告、24年にまとめをお願いします。欲を言えば、26年度目標に、不便している方の立場に立った、より具体的なビジョンが見える目標が欲しい。

事務局 ハード面での目標を立てることは財政計画との連動もあるので、非常に難しいところがあります。

委員 理想的な姿を反映させた具体的な中長期計画を立て、それを実現するために年次計画は立てるもの。予算が取れるかは別とし、また要求していけば取れることもあるので、基本的な考え方を提示しておくことが重要と思います。

事務局 目標として掲げると、図書館としての方針になる。内部的にもより説得力のあるものになるので、なるべく見える形でお示ししていきたいと思います。

1-2 既存施設の整備・改修

委員 こちらは具体的なのでこのままでよろしいですね。

1-3 図書館業務システムの再構築

委員 こちらも問題なく、しかもすべて達成できているのでよろしいですね。

2 安心して利用できる図書館環境の構築

2-1 利用者の安全性を高める施設の充実

委員 目標はこちらでよろしいですね。

委員 防犯カメラの台数など具体的をお願いします。人による館内警備はどのような現状ですか。

事務局 常駐ではなく、時間・日時を区切った形で警備をしています。夜間など、特に必要な時間帯については検討中です。

2-2 個人情報とプライバシーの保護

委員 こちらの目標はこのままでよろしいのでしょうか。

委員 継続実施ですが、これは継続することに意味があると思います。今後も研修

を続けてください。

2-3 危機管理体制の構築

委員 こちらもこのままでよろしいですね。

3 質の高いサービスを支える体制整備

3-1 職員の人材育成

委員 こちらもこれでよろしいでしょうか。

3-2 施設の管理・運営形態

委員 検討結果はいかがでしょう。

事務局 24年度中には中間報告としてお出しできるようにいたします。

3-3 評価システムの構築

委員 「進める」とありますので、何か成果物を出してください。

4 地域の情報拠点としての情報の蓄積

4-1 多様な情報資料の蓄積

委員 これは目標が2つになっていますので、項目を分けましょう。

事務局 インターネットデータベースの充実について補足します。これはデータベースの種類を増やすこと、利用の促進を指します。利用の促進を図るため積極的な広報や、利用者対象のデータベース利用講座の開設を考えております。

委員 充実では評価が難しいので、それは目標に具体的に掲げてください。

4-2 市民や地域の蔵書の有効活用と資料のリサイクル

委員 こちらも継続ですか。

事務局 継続事業となります。

5 市民や関係機関と連携したサービスの充実

5-1 市民との協働

委員 こちらは研究結果をぜひ入れてください。

事務局 こちらはプレイスで求められていることだと思います。今年度研究に入った段階です。

5-2 他の図書館施設、行政部局との連携・協力

委員 関係各課とは市役所をさしていますか。

事務局 市役所もあります。今年度の例ですと、「節電・省エネ」の展示を行った際、環境政策課へ蔵書リストを送り、あちらの展示に協力するといった、相互の協力を行いました。また、市役所以外もございます。

委員 こちらも目標を2つに分けましょう。

5-3 その他の機関との連携協力

委員 「等」とせずに「資料展示」に反映させるとするべきです。

事務局 資料展示だけでなく今後の在り方などにも反映させられると思います。

委員 わかる範囲でどこに反映させるかを書くといいと思います。

5-4 学校との連携協力

委員 選書会議は継続ですね。「学校図書館システムとの連携を研究」とあります。こちらはいかがでしょう。

事務局 システムは稼働していますが、まだ連携までは至っていません。

委員 取組結果として、研究結果の報告をお願いします。

6 図書館の活用と情報収集の支援

6-1 貸出・閲覧サービス

委員 返却拠点の研究について削除になっているのは返却ポストについて別に項目で目標があるからということですね。では削除にしましょう。

6-2 本に親しめる環境の整備

委員 これは新たにに実施することはありますか。

事務局 テーマ展示をプレイスで新たに実施することを目標としました。

委員 プレイスでのテーマ別配置というのはどういうものでしょうか。

事務局 2階にあるテーマ展示の部分です。

6-3 市民活動支援機能の充実

委員 こちらも継続ですね。

委員 新しいことがあればよいのですが。継続も評価できますが。

委員 新しいことがあればご検討ください。

7 市民の学びと課題解決の支援

7-1 レファレンスサービスの充実

事務局 こちらは目標を2つに分けたいと思います。

7-2 学びを支える情報の収集、提供、発信

委員 更新とありますがいかがでしょう。結果は出ますか。

事務局 こちらは、年度が新しいものとさかのぼるものと年々増やしています。

委員 ではこちらは結果がでますね。

7-3 課題解決の支援

委員 こちらは新しい取組ですね。

委員 こちらにパスファインダーは入れないのでしょうか。

委員 引き続き継続していただくということで、これは入れていただきます。

8 利用対象者別の図書館サービスの充実

8-1 一般利用者向けサービスの充実

事務局 他の項目と目標が重なっていますが、残していただけますか。一般利用者向けサービスは幅広いため、別項目で出てきた目標の再掲となっています。評価が難しいと思いますが残していただければと思います。

委員 では再掲ということで生かしましょう。

事務局 レファレンス部分で二つの目標を掲げていますので、この項目の目標は4つでよろしいでしょうか。評価・コメントは同じものが入ります。

8-2 児童サービスの充実

委員 ブックスタート事業は継続事業ということです。ハンディキャップを持つ子どもへのサービスは新規事業ですね。検討結果の提出をお願いします。

8-3 ヤングアダルト向けサービスの充実

委員 こちらも目標を分けましょう。

委員 こちらは実施できていますね。連携について具体的に出せますか。

事務局 どのような支援を行ったかということはお出しできると思います。

8-4 シニア利用者に対するサービス

委員 こちらは検討と充実に目標を分けてください。

委員 大活字本の充実は具体的で、生涯学習支援は抽象的なので、生涯学習支援について具体的に目標を掲げてください。

事務局 プレイスで言えば生涯学習機能も持っているので、それとの連携事業をご提示することは可能です。

8-5 来館、利用困難者に対する利便性向上

委員 片方は継続、もう片方は検討結果が欲しいところですね。

委員 22年度目標に配本サービスの検討とありますが、こちらは残しますか。

事務局 こちらは残してください。長いスパンで解決していこうと思います。

(2) 今後のスケジュールについて

次回会議までの日程の確認を行った。

(3) その他（会議日程等）

今回は平成24年4月25日午後5時30分より吉祥寺図書館にて開催を決定した。

4 閉会